



なぜ、ワーク・ライフ・バランスが必要？

これまでの働き方では個人、企業・組織、社会全体が維持できなくなる恐れがあります。

まいったな。また、子どもの行事に出られないよ。



仕事と、家事と育児…。家が第二の職場みたい。



キャリアもあって優秀な人なのに、残念だな。

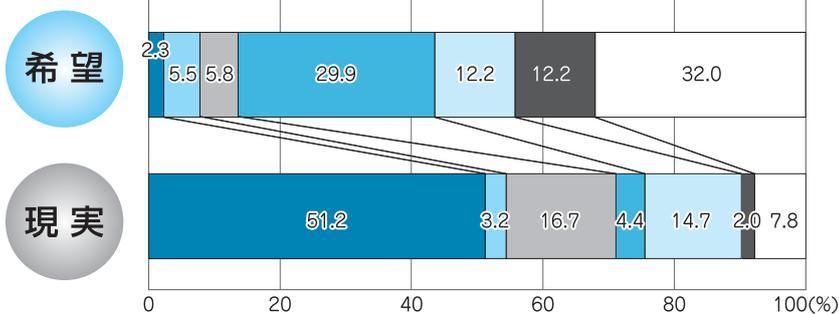


夫の仕事は残業が多くて家庭との両立は無理なのでわたしが辞めること。

ワーク・ライフ・バランスの希望と現実

出典：「職場・家庭・地域における男女共同参画」青森県より

男性の既婚者で職業についているかた

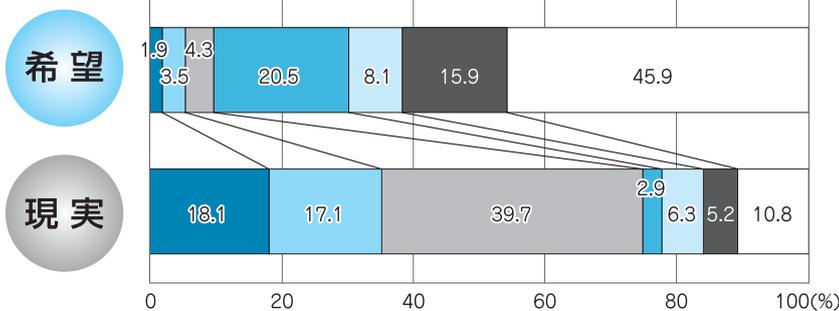


参観日はいつも行けない。もっと子育てにかかわりたい。



男性の場合には「仕事優先」を希望しているかたは2.3%ですが、現実には51.2%のかたが仕事優先の生活をしいられています。

女性の既婚者で職業についているかた



子どもはカワイイけど、もうクタクタ。育児休業も取りにくいし、二人目は、あきらめようかな。



女性の場合には「仕事・家事・プライベート」を希望しているかたは45.9%ですが、現実には10.8%のかたしか両立できていません。

■ 仕事優先
 ■ 家事優先
 ■ 仕事と家事優先
 ■ プライベートな時間優先
 ■ 仕事とプライベート優先
 ■ 家事とプライベート優先
 □ 仕事・家事・プライベートを両立



新しい時代の新しい生き方

「ワーク・ライフ・バランス」社会の実現で男女共同参画社会づくりをすすめよう！

今日の社会は、働く人々の将来への不安や豊かさが実感できない社会といわれています。安定した仕事に就けず、経済的に自立することができない、仕事に追われ心身の疲労から健康を害しかねない、仕事と子育てや老親の介護との両立に悩むなど、社会の活力低下や少子化、人口減少につながっています。

老若男女誰もが、仕事上の責任を果たしつつ、結婚や育児などの家庭生活、ボランティアなどの地域活動への参加、介護や趣味、勉強などの自己啓発など「仕事と生活の調和」を実現していくことが必要です。新たな生活スタイルがこれからの時代に求められています。

編集委員

氣田明美、高森修子、中野渡明美

男女共同参画に関するご意見・ご要望をお待ちしています。

問い合わせ先

総務課広報男女参画係

☎ ☎ 5111 内線155